

原村子ども・子育て計画

概要版



令和7年 3月

原村・原村教育委員会



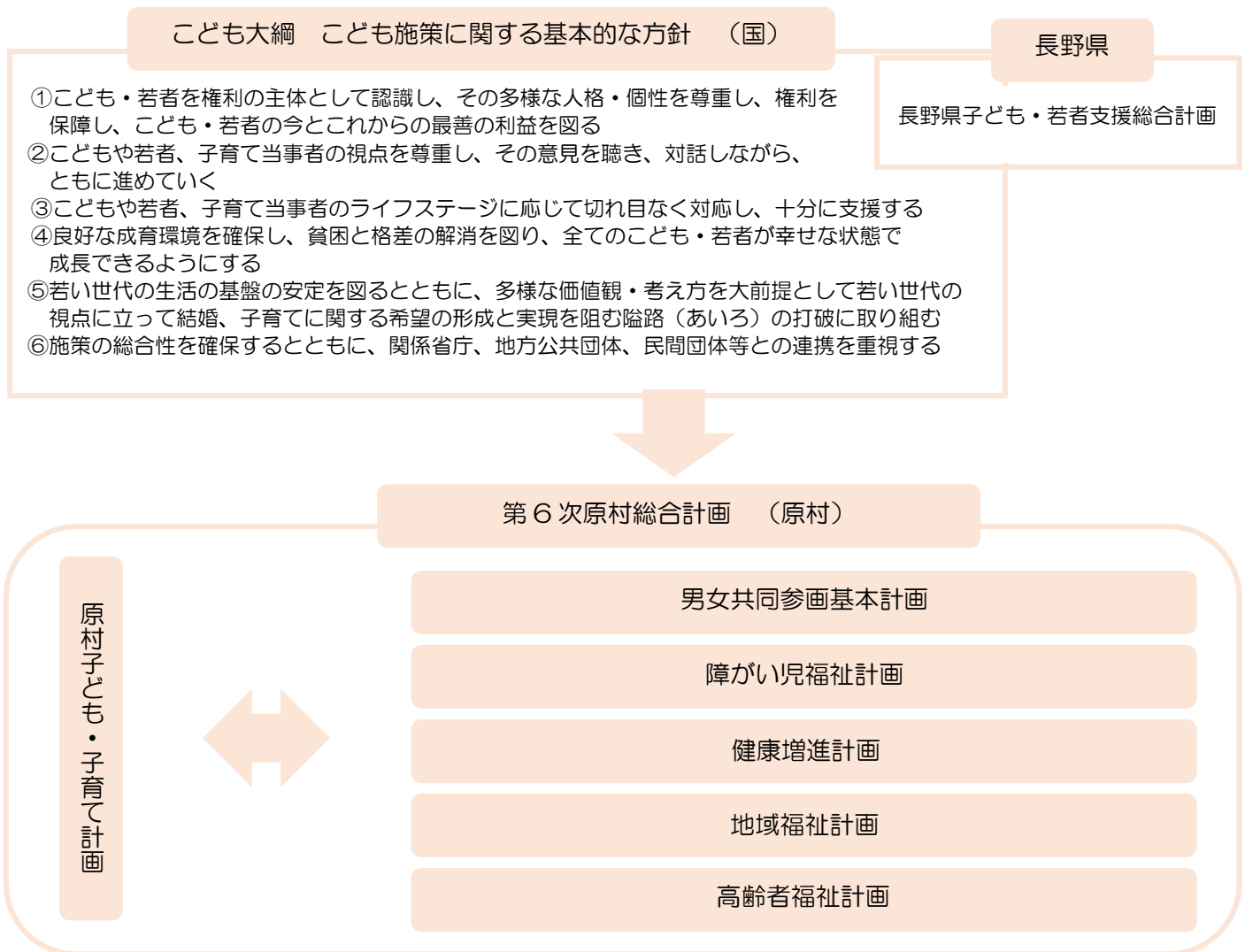
＊計画の概要＊

◆計画策定の背景及び趣旨◆

令和５年４月１日施行のこども基本法により、市町村は、国が定める「こども大綱」等を勘案して、子ども施策についての計画「こども計画」を定めるよう努めることとされました。

本村では「第２期 原村子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：令和２年４月～令和７年３月）の改定に合わせ、子どもや子育て家庭の支援に関する総合的な計画として、「原村子ども・子育て計画」（計画期間：令和７年４月～令和１２年３月）を策定します。

◆計画の位置づけ◆



◆計画の対象と期間

○対象：子ども（０歳から概ね１８歳）と子育て家庭（左記子どものいる家庭）

○期間：令和７（２０２５）年度から令和１１（２０２９）年度までの５年間

＊前計画の振り返り＊

(前：基本目標1)子どもの健やかな成長を支えます

(前：基本目標2)「賢く・優しく・たくましい」原っ子の育ちを応援します

(前：基本目標3)多様なニーズに応じた子育て支援を進めます

(前：基本目標4)みんなが子育てにかかわる村をめざします

(前：基本目標5)子育て家庭が安心して暮らせる村をめざします

第2期計画は、子ども・子育て支援センターの開設や保育サービスの拡充など、ハード面での整備が大きく進み、地域全体で子育てを支える体制が強化されたと評価できます。特に、相談員の増員、保育サービスにおける一時保育の充実などは大きな成果と言えるでしょう。

＊子ども・子育てを取り巻く環境＊

◆人口の推移◆

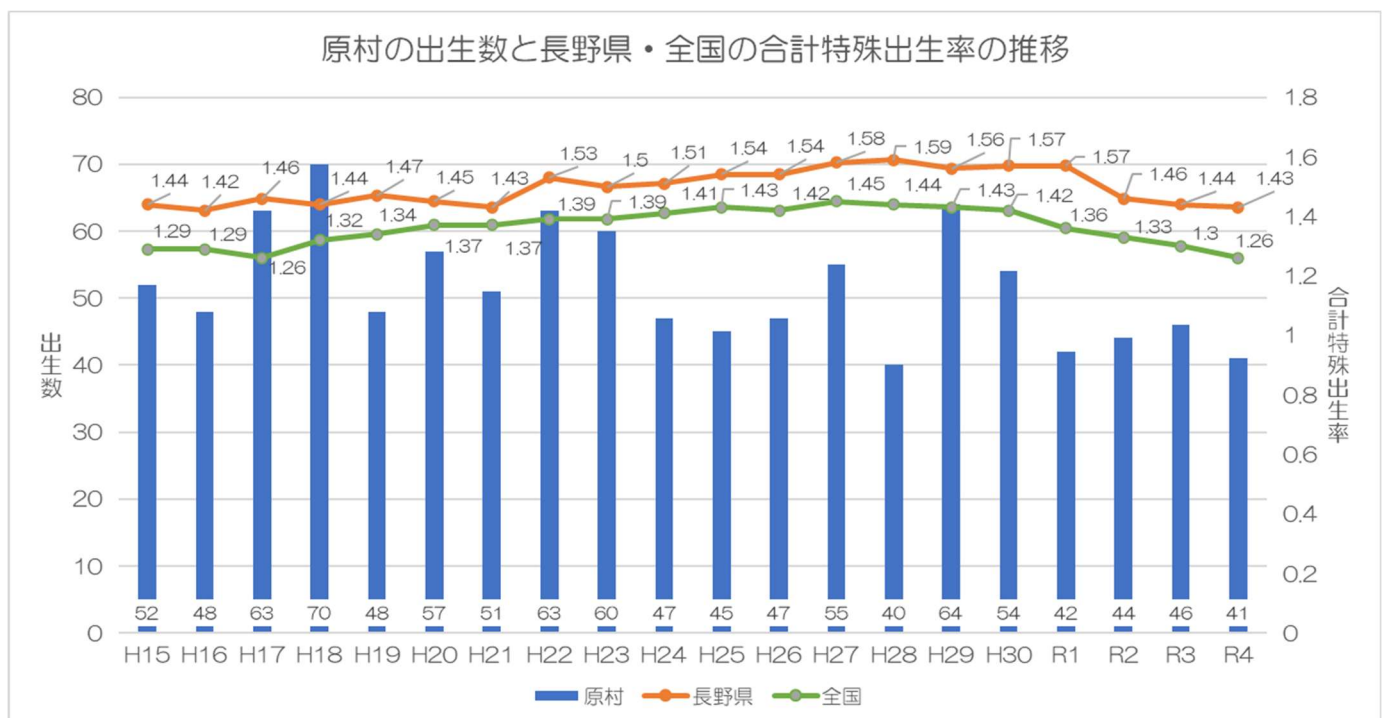
原村における総人口は近年増加傾向にありますが、0～14歳の年少人口は減少しています。

単位：人

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
0～14歳	1011	979	954	937	915
15～64歳	4301	4346	4298	4285	4309
65歳以上	2690	2713	2763	2818	2872
合計	8002	8038	8015	8040	8096

資料：地区別年齢別人口集計表（各年3月31日現在） ※すべて外国人を含む

合計特殊出生率と出生数の推移



資料：人口動態統計、原村の統計（令和4年度版）、統計ステーションながの

◆ライフステージ別の意識◆

結婚について

令和 4 年の長野県の平均初婚年齢は、男性 31.1 歳（全国 39 位）、女性 29.5 歳（全国 33 位）で晩婚化が進行しています。また、未婚率については全国平均を下回っているものの、上昇傾向にあります。

【平均初婚年齢】（令和 4 年）

	女性	男性
長野県	29.5 歳	31.1 歳
全国	29.7 歳	31.1 歳

資料：人口動態統計

【50 歳時未婚率】（令和 2 年）

	女性	男性
長野県	14.28%	26.63%
全国	17.81%	28.25%

資料：人口統計資料

子育て環境について

◆認可保育所の状況◆

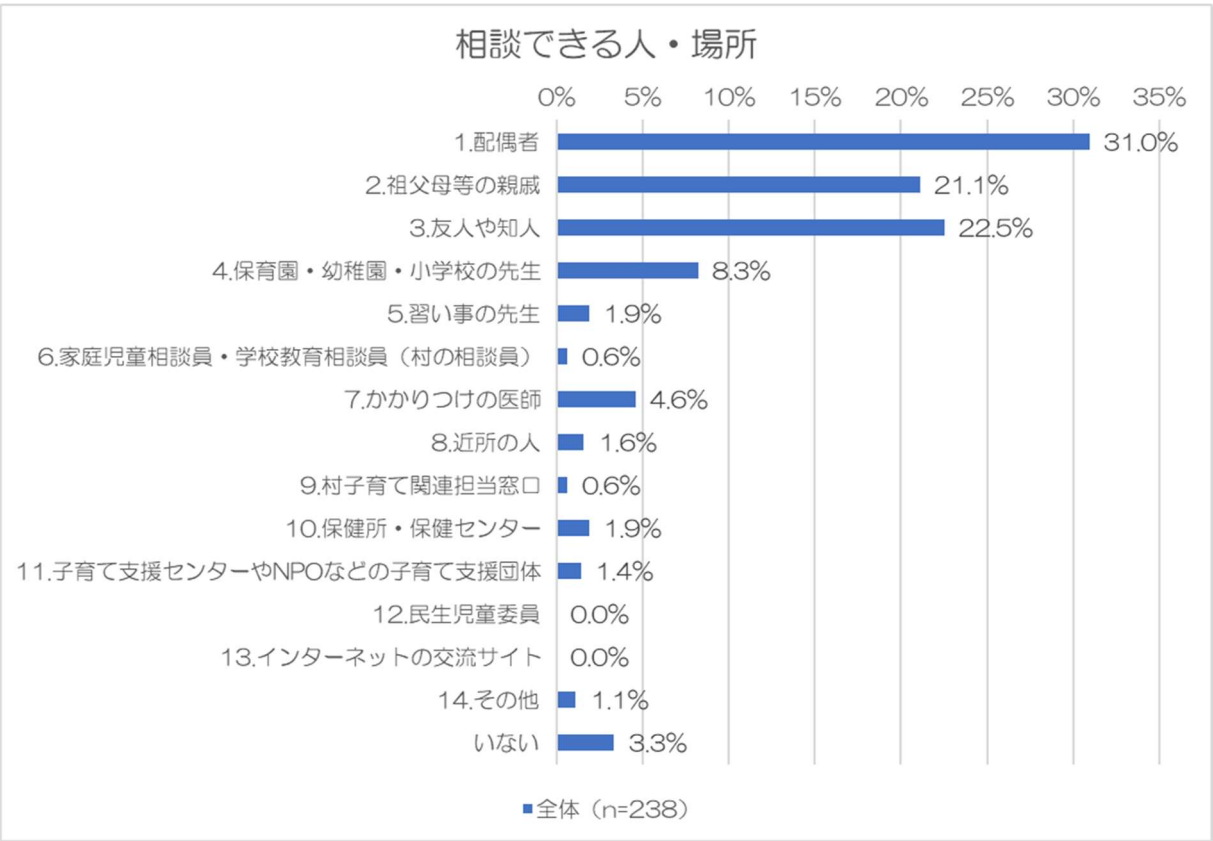
単位：人

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	定員数	入所児童数	定員数	入所児童数	定員数	入所児童数	定員数	入所児童数	定員数	入所児童数
原村保育園（3歳以上児）	191	160	191	165	191	155	191	144	191	
風の子保育園（3歳以上児）									5	
入所率	83.8%		86.4%		81.2%		75.4%			
原村保育園（3歳未満児）	49	47	49	44	49	50	49	40	49	
風の子保育園（3歳未満児）							20	15	15	
入所率	95.9%		89.8%		102.0%		79.7%			

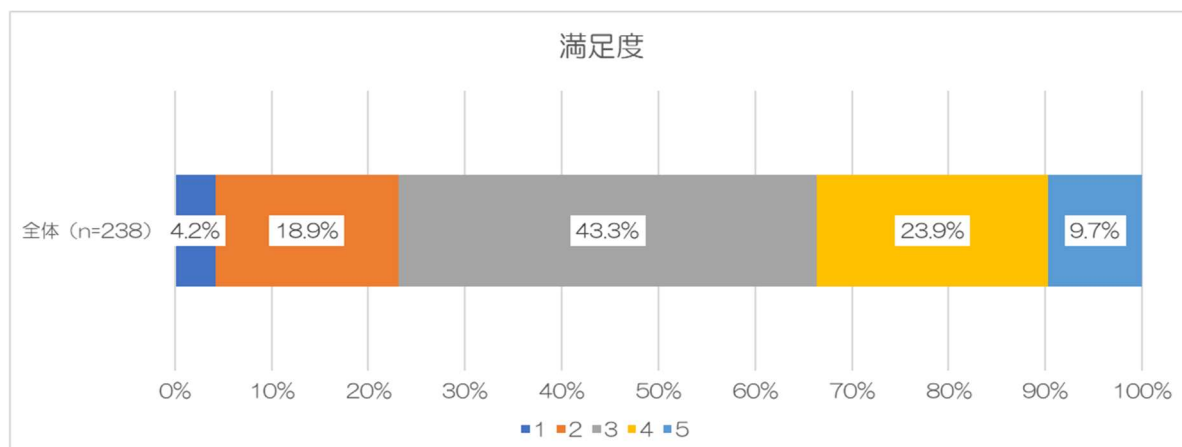
◆子ども・子育て支援に関するニーズ調査◆

【気軽に相談できる人や場所】

子育てについて気軽に相談できる人・場所については、「配偶者」と回答した割合が 1 番多いですが、「いない」と回答した割合も 3.3% いました。

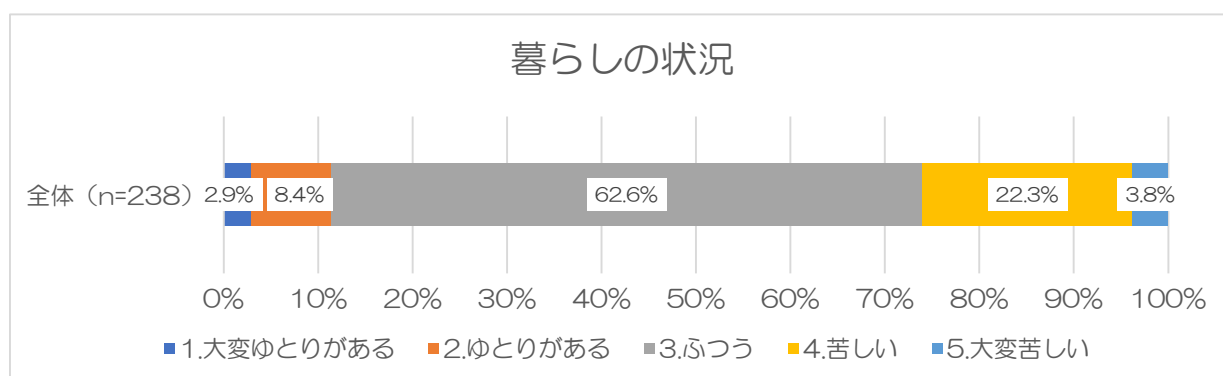


【子育ての環境や支援への満足度】（1 最も満足度が低い から 5 最も満足度が高い の順）
 原村の子育ての環境や支援への満足度は、3 割以上の保護者が満足度が高いと回答しました。



【暮らしの状況】

現在の暮らしの状況については、1/4 以上の保護者が苦しいと回答しました。



◆児童生徒・家庭・教育相談件数◆

	R2	R3	R4	R5
相談・訪問件数	1336件	1419件	1122件	1144件

◆子ども・若者の声◆

ニーズ調査の結果から保護者の関心が高い「居場所」について子ども・若者から意見を聞きました。

○ワークショップ

小学生、中学生～専門学生までを対象にそれぞれ、「居場所」についてワークショップを実施しました。

↓結果↓

小学生：安全で楽しい場所として自宅や学校、公園などが挙げられ、改善点として「公園の遊具を増やす」「トイレの清掃」「はらっぱに音楽室やPCを設置」などの要望が出ました。

中学生～20歳：「自宅」「学校」「図書館」が安心できる場所として挙げられ、「学校のWi-Fi環境改善」や「図書館の設備充実」を求める声が多く聞かれました。また、「友達と宿泊できる施設」や「中高生が自由に集まれる場所」の設置が希望されました。

○アンケート

小学生から 20 歳代の若者を対象に、聞き取りと記入形式によるアンケートを実施しました。対象者は合計 40 名（小学生 9 名、中学生 21 名、高校生以上 10 名）でした。

↓結果↓

- 小学生 : 放課後や休日に「自宅やはらっぱ」で過ごすことが多く、遊具の充実や体育館の利用を求める声がありました。
- 中学生 : 「自宅」「図書館」「はらっぱ」が安全で楽しい場所として挙げられ、図書館の本の充実や無料の体育館利用など、より多様な施設の充実が求められました。
- 高校生以上 : 「ゲームセンター」「駅」「コンビニ」などの娯楽施設や日常生活を便利にする施設のニーズが高いことが分かりました。

＊計画の基本的な考え方＊

◆基本理念◆

- 1 安心して子どもを生み、ゆとりと責任・愛情をもって楽しく子育てをする。
- 2 郷土原村に愛情と誇りをもって、「賢く・優しく・たくましい」原っ子として元気に育つ。
- 3 緑豊かな自然の中で、子育てを温かく見守り、ともに支えあいみんなで子育てをする。

↓

みんなで輪を持ち 子育て・子育て支援のむら 原村

◆基本目標◆

(基本目標 1)「賢く・優しく・たくましい」原っ子の成長を支えます

(基本目標 2)多様なニーズに応じた子育て支援を進めます

(基本目標 3)子育て家庭が安心して暮らせる村をめざします

＊施策の展開＊

◆基本目標 1 「賢く・優しく・たくましい」原っ子の成長を支えます◆

(1) 「幅広く」「質の高い」教育・保育の推進

一人ひとりの子どもが持つ個性や興味関心を大切にし、それぞれに合った学びの機会を提供します。また、友達との関わりの中で、協調性や思いやりの心を育み、豊かな人間性を育みます。

(2) 子どもの成長と、発達の支援

子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、多角的な支援を行います。適切な医療を提供するため、小児医療体制の質を継続的に確保します。また、遊びや学びを通して、子どもたちが自ら考え、行動し、自主的に活動できるよう支援するとともに子どもたちが抱える悩みや不安に寄り添い、心の健康をサポートします。さらに、食育を通して、食の大切さを学び、心身ともに健康な子どもを育てます。

(3) 生きる力を育み、郷土を愛する心の育成

地域の人材や資源を最大限に活用し、子どもたちが自ら学び、体験する機会を豊富に提供します。郷土の歴史や文化に触れることで、子どもたちは郷土への愛着を深め、地域の一員としての自覚を育みます。

◆基本目標 2 多様なニーズに応じた子育て支援を進めます◆

(1) 安心・安全な妊娠・出産への支援の充実

妊娠中から出産後まで、安心して子育てを始められるよう、様々な支援を行います。相談窓口を設け、妊娠中の不安や疑問に気軽に相談できる体制を整えます。また、出産後の育児に関する相談や支援も充実させます。

(2) 親子で健やかに成長するための子育て支援

親子が共に成長できるよう、子育てに関する様々な支援を行います。子育て相談や男性の育児参加の促進、保育サービス・放課後児童対策など、子育て中の親が孤立せずに、安心して子育てに取り組めるよう支援します。

◆基本目標 3 子育て家庭が安心して暮らせる村をめざします◆

(1) 居場所づくりの推進

身近な公共施設等を活用し、地域で安心して遊び過ごせる場を提供するとともに、多様な活動機会の充実を図ります。行政、地域住民、企業学校など、様々な主体が協力し、よりよい子育て環境を創出していきます。

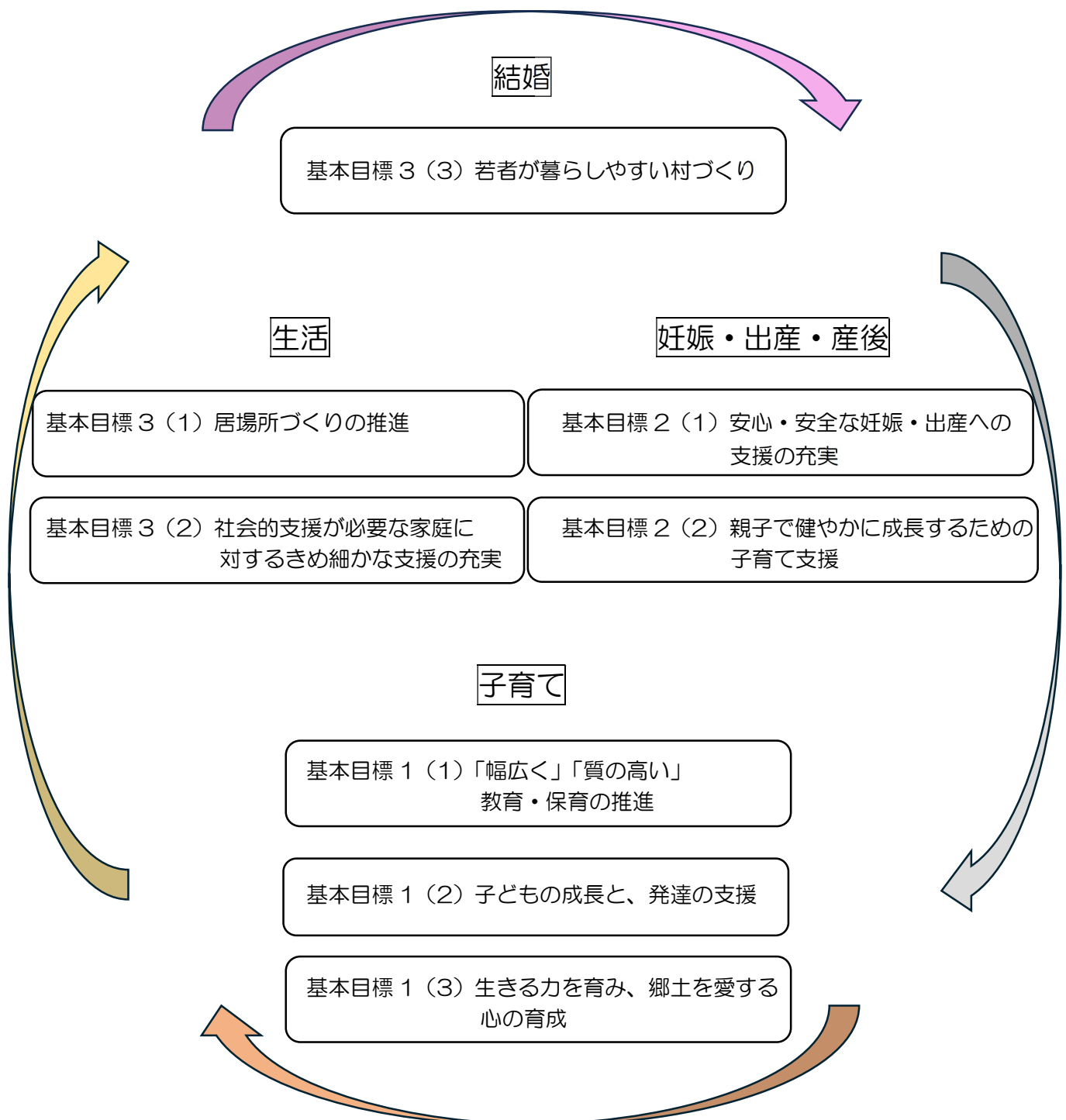
(2) 社会的支援が必要な家庭に対するきめ細かな支援の充実

保険、医療、福祉、教育等の相互の連携を深め、総合的な支援を進めるとともに、各種施策の周知を図り、子育てに係る支援の継続に努めます。経済的な困難を抱えている家庭や、虐待などの問題を抱えている家庭など、社会的支援が必要な家庭に対して、きめ細やかな支援を行います。相談窓口の設置、生活支援、子どもの学習支援など、それぞれの家庭の状況に応じた支援を行います。

(3) 若者が暮らしやすい村づくり

結婚を希望する若者への支援、若者の定住支援、地域活動への参加促進など、若者が安心して子育てを始め、長く暮らしたいと思えるような村づくりを目指します。

＊ライフステージに応じた切れ目ない支援＊



＊量の見込みと確保方策＊

			単位	数値区分	ニーズ量と確保状況（各年度）				
					令和	令和	令和	令和	令和
					7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
					2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
教育・保育	教育ニーズ 1号認定		人	ニーズ量	10	10	9	9	9
				確保量					
				差					
	教育ニーズ 2号認定		人	ニーズ量	0	0	0	0	0
				確保量					
				差					
	保育ニーズ 2号認定		人	ニーズ量	105	102	92	88	91
				確保量					
				差					
	3号認定	0歳	人	ニーズ量	18	18	18	18	18
				確保量					
				差					
		1歳	人	ニーズ量	23	25	25	25	25
				確保量					
				差					
		2歳	人	ニーズ量	23	24	26	26	26
				確保量					
				差					
		小計	人	ニーズ量	64	67	69	69	69
				確保量					
				差					
地域子ども・子育て支援事業	放課後 児童健全 育成事業 (学童クラ ブ)	低学年（5歳児）	人	ニーズ量	17	21	19	16	16
		高学年（5歳児）		ニーズ量	6	8	7	6	6
		1年生		ニーズ量	21	16	19	18	14
		2年生		ニーズ量	24	22	16	19	18
		3年生		ニーズ量	44	51	45	33	41
		4年生		ニーズ量	31	26	29	26	19
		5年生		ニーズ量	34	42	35	40	36
		6年生		ニーズ量	14	14	17	14	16
				確保量					
				差					

			単位	数値区分	ニーズ量と確保状況（各年度）				
					令和	令和	令和	令和	令和
					7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
					2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
	地域子ども・子育て支援事業	時間外保育事業 （利用登録者数）		人	ニーズ量	34	34	32	32
確保量									
差									
一時預かり事業 （幼稚園型）		1号認定による利用	人	ニーズ量	13	12	11	11	11
				確保量					
				差					
		2号認定による利用	人	ニーズ量	0	0	0	0	0
				確保量					
				差					
一時預かり事業 （在園時対象型を除く）		人	ニーズ量	769	796	808	808	808	
			確保量						
			差						
病児・病後児保育事業		人/年	ニーズ量	292	292	281	274	278	
			確保量						
			差						
ファミリー・サポート・センター事業		人	ニーズ量	34	34	32	32	32	
			確保量						
			差						
子育て短期支援事業 （ショートステイ事業）		人	ニーズ量	0	0	0	0	0	
			確保量						
			差						
地域子育て支援拠点事業 （はらっぱ）		人	ニーズ量	57	58	61	61	61	
			確保量						
			差						
利用者支援事業 （基本型・地域子育て相談機関・子ども家庭センター・特定型）		ヶ所	量の見込み	1	1	1	1	1	
			確保量	検討中					
新規事業	子育て世帯訪問支援事業		人	量の見込み	3	3	3	3	3
				確保量	未定（確保方法を検討中）				
	児童育成支援拠点事業			量の見込み	0	0	0	0	0
				確保量	未定（確保方法を検討中）				
	親子関係形成支援事業			量の見込み	10	10	10	10	9
				確保量	未定（確保方法を検討中）				